

「名目金利と実質金利」

今回は、経済の基礎知識として「名目金利と実質金利」について説明します。

1. 名目金利とは

「名目金利」というと、本物ではないという印象を与えますが、世の中で一般的に目にする表面上の金利がすべて「名目金利」です。具体的には、店頭などで定期預金の金利が年5%と表示されている場合、この5%が「名目金利」です。

2. 実質金利とは

「実質金利」とは、上記の「名目金利」に物価変動率（インフレ率またはデフレ率）を加味したものです。つまり上記の「名目金利」が、物価変動により貨幣価値が下落（または上昇）した場合にどうなるのか、それを考慮したものが「実質金利」です。

たとえば、100万円の定期預金の金利が年5%でインフレ率が2%の場合、100万円の定期は翌年105万円となりますが、インフレによってこれまで100万円で購入できたものが102万円に値上がりしているので、実質的には、3万円の利息しかついていないことになります。つまり実質金利は、3%となります。

3. 実質金利の計算方法

実質金利にも、短期金利と長期金利が考えられます。

- (1) 実質短期金利は、名目短期金利に現実に観察される物価変動率を加味します。
- (2) 実質長期金利は、名目長期金利に長期の期待物価変動率を加味します。

(1)については定型化できますが、問題は実質長期金利です。期間が長いので長期の期待物価変動率は、その時点で観察される数値と異なってくるからです。期待物価変動率は、簡便に、長期の期待物価変動率として、実際に発表されている物価変動率を代用する場合がありますが、先進国の一部では物価連動国債の情報を利用する場合も増えています。

次に実質金利の持つ意味を考えるため図1を用いて考えてみます。

図1		(名目金利)		(インフレ率)		(実質金利)
A国	…	10%	-	8%	=	2%
B国	…	6%	-	2%	=	4%

為替の変動リスクが同じと仮定して、A国とB国のどちらに投資するかを考えてみると、理論的には、投資家は名目金利が低くても実質金利が高いB国に投資した方が有利です。

4. まとめ

経済用語として「金利」というときには、「名目金利」を指す場合がほとんどです。ただ、同じ金利でも物価変動率により、実質的な利息は大きく異なります。時には、実質金利ベースで考えてみては、いかがですか。

閑話ひとつ

- ▶今年、福島から始まる聖火リレー、東京オリンピック開催と1年を通していい年になるものと思いましたが、いつの間にか新型コロナウイルスの発生・感染拡大で生活も経済も甚大な影響を受けています。緊急事態宣言が、全都道府県に拡大され、在宅勤務を実施している企業もあります。福島でも、様々なイベントが中止となり、土日も外出自粛を余儀なくされています。今は、新薬が開発され沈静化するのを待つばかりです。
- ▶ただ、今回のことで身に染みて感じたことがあります。それは、「気兼ねなく外出できることがいかに素晴らしいことか」ということです。早く青空の下散歩をしたり、買い物したりしたいものです。
- ▶最後に、3月30日に福島市出身の作曲家古関裕而と妻金子をモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」が始まりました。福島市内でも関連の写真を撮っている方をときどき見かけます。テレビの影響力の大きさを感じるとともに、福島の魅力が全国に伝わり、福島復興の一翼を担ってくれることを期待して止みません。
(Y・N)